事例No.	2284
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	千葉県柏市

事例区分	地域活性化

タグ	・公共施設活用 ・関係人口 ・EBPM

事例種類	経済効果の検証

事例内容・タイトル

駅前における研究機能集積を通じた快適な住環境の創出

出典

地方自治研究機構：近接する都市整備に伴う相互波及・効果を踏まえた経済効果の検証に関する調査研究（令和２年度）

＜調査研究事業：近接する都市整備に伴う相互波及・効果を踏まえた経済効果の検証に関する調査研究（令和２年度）＞

〇近接する都市整備に伴う相互波及・効果を踏まえた経済効果の検証

・駅前における研究機能集積を通じた快適な住環境の創出

取組団体：千葉県柏市

取組内容：「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づく研究機能集積を中心としたまちづくり

１．柏市の概要

人口：432,605 人（令和４年 11 月１日現在）

職員数（一般行政職）：2,583 人（令和４年４月１日現在）

総面積：114.74 ㎢

図表 1 柏市の位置図



出所：柏市ホームページ

２．取組の背景・目的

つくばエクスプレス線柏の葉キャンパス駅周辺において、千葉県、柏市、東京大学、千葉大学共同による「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づく、「公・民・学連携による国際学術研究都市・次世代環境都市」を理念としたまちづくりが進められている。柏の葉地域では、昭和 59 年から柏通信所跡地土地区画整理事業が施行され、住宅のほか、県立柏の葉公園、東京大学、千葉大学、国立がん研究センター、国の研究所が立地された。また、平成 12（2000）年、千葉県の施行による柏北部中央地区一体型特定土地区画整理事業が開始され、平成 17（2005）年につくばエクスプレス線開通と柏の葉キャンパス駅開業を背景に、新しいまちづくりが進行することとなった。ここでは、公民学の連携により、新たな知と産業、文化を創造する「国際学術研究都市」が目指されている。また、東京大学、千葉大学といった国内有数のアカデミアや三井不動産グループが、民間事業者としてまちづくりに参画していることも大きな特徴のひとつである。

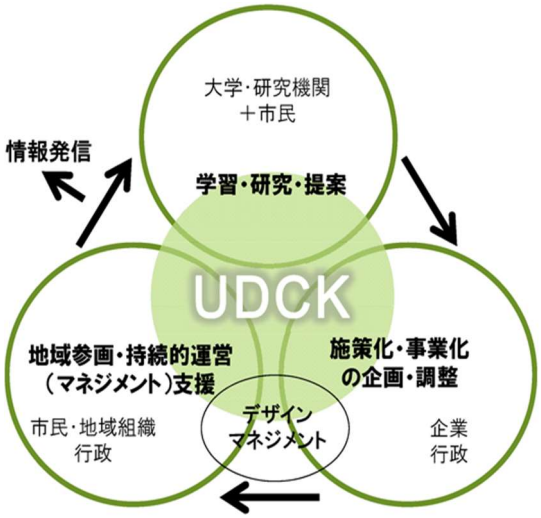
駅周辺には、居住・商業機能や、公園・競技場といった環境・健康をテーマとした機能も集積しており、優れた自然環境と共生し、健康で高質の居住・就業環境が実現される、持続性・自立性の高い「次世代環境都市」も目標とされている。

３．取組の内容

駅周辺における数多くの取組の一部として、公民学の連携を目的とし、柏の葉国際キャンパスタウン構想の推進機関である「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」や、「柏の葉スマートシティコンソーシアム」を立ち上げ、国土交通省のスマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクトに選定され、駅を中心とするスマート・コンパクトシティを目指している。

「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」とは、公民学の連携によるまちづくりの場として設置され、東京大学、千葉大学、柏市、三井不動産、柏商工会議所、田中地域ふるさと協議会、柏の葉地域ふるさと協議会、首都圏新都市鉄道の８つの構成団体によって運営されている。これまでの主な活動として、まちづくりに関する会議、大学の講義・演習、フォーラム・イベント、海外からの視察、ワークショップ、市民活動（市民の手により企画・運営されている「まちのクラブ活動」等）が挙げられる。

図表 2 UDCK の理念と役割

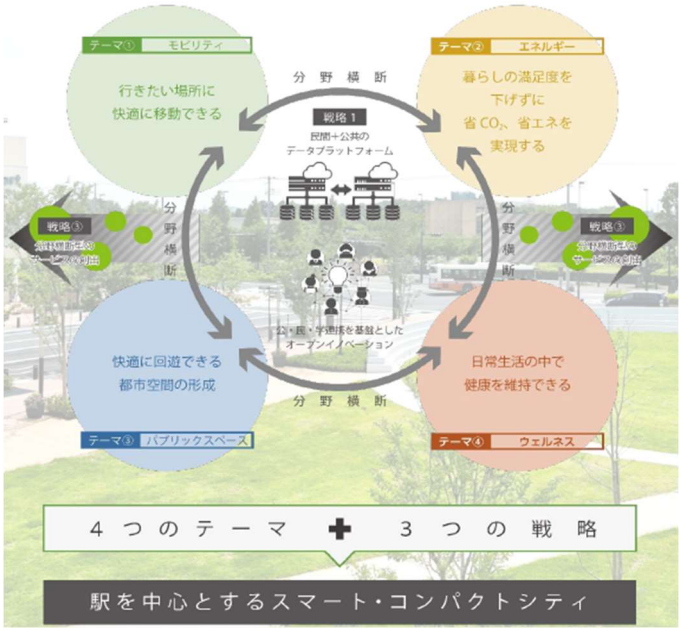


出所：柏の葉アーバンデザインセンター
（https://www.udck.jp/about/000248.html）

「柏の葉スマートシティコンソーシアム」とは、柏市、三井不動産、UDCK が幹事を務める組織であり、令和 4（2022）年 1 月現在 26 団体が参画している。この参画団体で策定した実行計画において、人・モノ・情報が集まりやすい駅中心の圏域の特性を活かし、民間データ・公共データが連携したデータプラットフォームを構築、AI・IoT 等の新技術の導入により、データ駆動型の「駅を中心とするスマート・コンパクトシティ」の形成が目標とされている。具体的に

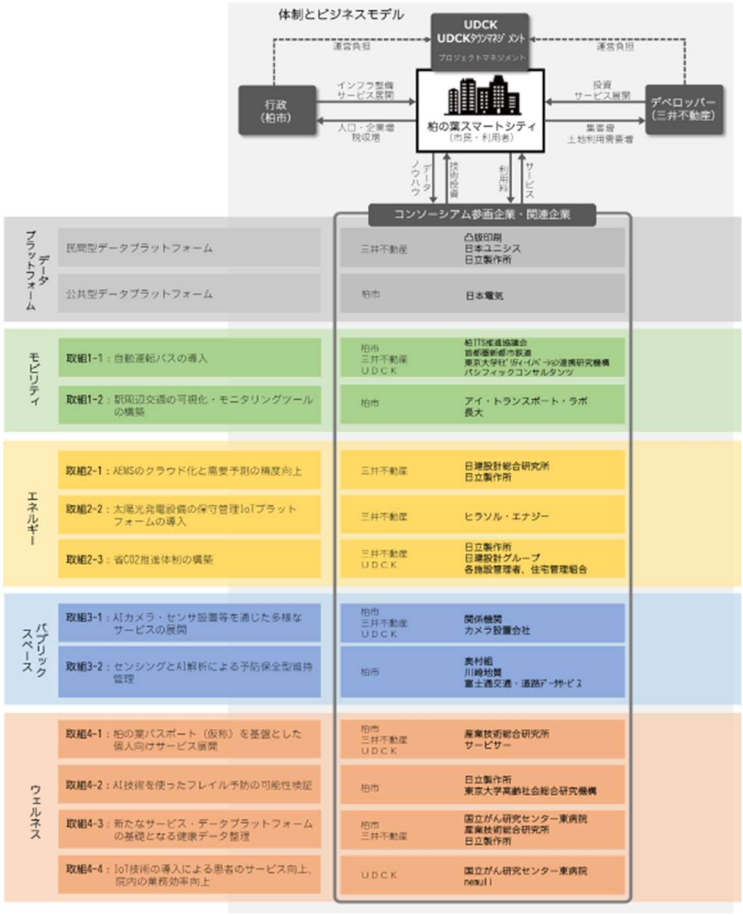
は、スマートシティの実現に向けて、図表２の実行計画に基づいた、実証実験が実施されており、例えば、自動運転バスの導入、AI カメラによる安全・安心サービスや IoT の活用による患者サービスの向上が取組として挙げられる。

図表 3 スマートシティ実現に向けたモデル事業の取組内容



出所：柏の葉スマートシティ実行計画フォローアップ 2020　P2
（https://www.kashiwanoha-smartcity.com/fdownload.php?ctr=download&d=7）

図表 4 柏の葉スマートシティコンソーシアムの体制



出所：柏の葉スマートシティ実行計画（全体版） P2-7

（https://www.kashiwanoha-smartcity.com/fdownload.php?ctr=download&d=1）

4．成果・課題

柏の葉キャンパス駅周辺において、上記を中心に様々な取組が実施され、地域のにぎわい創出に貢献していると考えられる。図表４が示すように、駅周辺の人口も増加傾向にあることが分かる。今後も、当地域のまちづくりによって、集客効果、人口増、経済効果等の観点から、周辺への波及効果が期待される。

図表 5 柏市北部地域における人口推移



出所：柏市「北部まちづくり事業の進捗状況」

（https://www.city.kashiwa.lg.jp/hokubuseibi/shiseijoho/keikaku/machizukuri/hokubu/shinchoku.html）

※柏の葉キャンパス駅周辺は、「柏北部中央地区」に分類される。

【参考】

＜URL＞

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）「柏の葉国際キャンパスタウン構想」

https://www.udck.jp/town/000372.html

柏市「北部まちづくり事業の進捗状況」

https://www.city.kashiwa.lg.jp/hokubuseibi/shiseijoho/keikaku/machizukuri/hokubu/shinchoku.html

柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）

https://www.udck.jp/

柏の葉スマートシティ

https://www.kashiwanoha-smartcity.com/

＜資料・文献＞

柏の葉国際キャンパスタウン構想 2019 改訂版

https://www.udck.jp/town/KCTI2019web.pdf

柏の葉スマートシティ実行計画（全体版）

https://www.kashiwanoha-smartcity.com/fdownload.php?ctr=download&d=1

柏の葉スマートシティ実行計画フォローアップ 2020

https://www.kashiwanoha-smartcity.com/fdownload.php?ctr=download&d=7